

step for
100th
ANNIVERSARY
100周年に向けて



山科学園高等學校

あらすき会より

2020年版
No.24
令和2年9月1日発刊

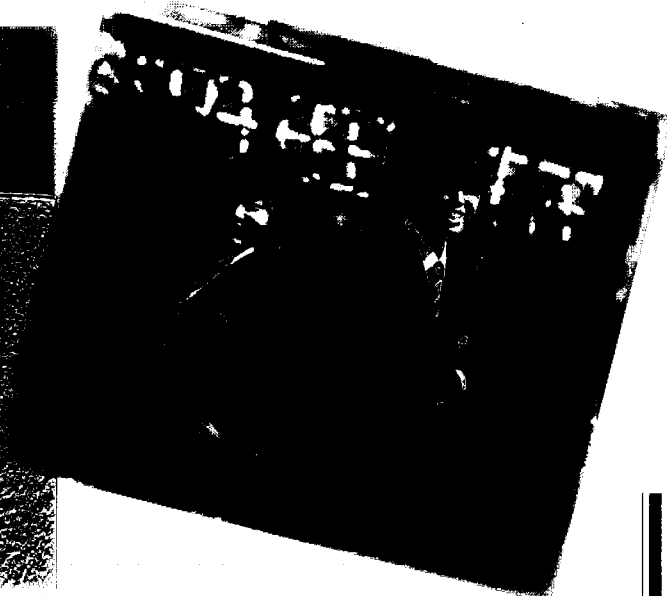
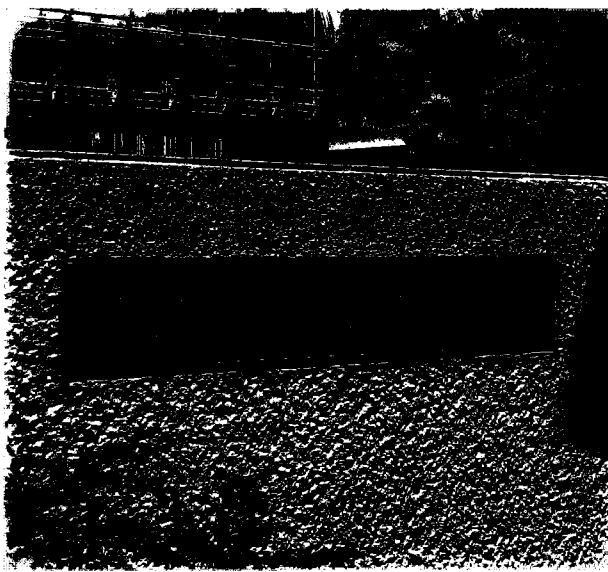


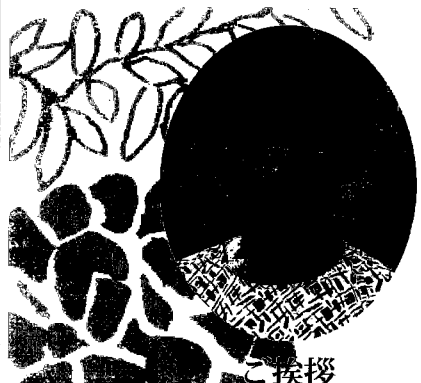
一 富士の高嶺の白妙を
雲のあなたに仰ぎつゝ
学びの道を踏みわけて
やがて極めんいただきを
名は山村よ我等の学舎

二 清き流れの大利根や
行く手は遠く広くとも
教えの海に漕ぎ出でて
底の真珠を探りなん
名は山村よ我等の学舎

三 初雁おとらう武蔵野に
紫におう藤の花
理想を高くかざしつゝ
いざや進まん諸共に
名は山村よ我等の学舎

校歌





ご挨拶

山村学園むらさき会
理事 岡中 久子

月日の流れを思い感じる昨今、むらさき会会員の皆様、お元気でしょうか。

さて、今年度も多くの会員をお迎えいたしました。ここでは、山村学園の長い歴史を感じ得ます。

山村学園同窓会は「むらさき会」と称して、母校山村学園を後援して、会員相互の親睦を深めることを目的に、活動を続けております。学園行事への参加、年1回の「むらさき会だより」の発刊、そして総会並びに懇親会を行っております。懇親会では、幅広い年代会員との交流が行われ、また、旧友との再会が華やいだ雰囲気となりますので、是非ご参加下さい。

今年度は、新たな方式で、総会並びに懇親会を計画しましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、止むを得ず中止といたしました。多くの方々が、楽しみにお待ちいただいていたとお聞きしておりますので、今後は、状況をみながら事業計画の実施を適宜判断させていただきます。

今後も、「むらさき会」へのご協力とご理解をお願い申し上げます、さらに母校山村学園のご発展を願って挨拶いたします。

(7月記す)



山村学園のコロナウイルス対応について

山村学園
理事長 岡 實 先生

2月下旬、政府の全国の学校臨時休業要請から始まった新型コロナウイルス対策は、誰もが未体験の非常事態に手探りの対応の始まりでした。現在感染者の拡大の中、第2波の発生を見据えての対応をしていますが、感染はワクチンや治療薬の開発がされるまで継続すると思われます。3月上旬から学校が再開された6月1日迄の間、両高校の校長と法人本部長とで開いた会議は8回に及び、少ない情報量のもとで最善の対応を模索したものです。

卒業式や入学式の在り方・感染防止対策・生徒の学習保障を図る方策と規則正しい生活の維持・毎日の健康観察・開校の時期・開校後の対応・学校行事や年間計画・教職員の勤務等多岐に渡りました。

対象生徒と学園教職員のみ卒業式は予定日に実施、入学式は国際高校が4月6日に学園高校は2度の延期を受け6月1日に実施でした。休校中オンラインでの朝夕のSHRや両校の先生方が作成した千本を超える動画の配信、両校で導入しているクラッシーで勉強と規則正しい生活の維持と生徒との繋がりを持ちました。

まだまだ続く永い戦いですが、生徒・教職員一丸となって戦い抜く決意です。

(7月記す)

当時の校訓の書 (昭和11年4月1日制定)



- 質實…質とは質素のこと。
實(実)とは真実であり正直であること。
- 愛敬…愛とはいつくしみ、めぐむこと。
敬とはうやまうこと。
- 貞淑…貞とは精神が定まって動かないこと。
淑とはしとやかで言葉遣いも上品であること。



私の祖父山村忠吉

むらさき会 相談役
山村 寛先生

祖父忠吉は当時の山梨県西山梨郡相川村塚原(現在の甲府市塚原町)で生まれました。貧しい農民の生活を続けていた祖母は、出稼ぎのために幼いぬみよを実家に預けて、当時の川越町(現在の川越市)にあった石川組製糸所川越工場に住み込みで働いていました。明治42年(1909年)学齢期の6歳を迎えたぬみよを実家から引き取り親子3人の生活が社宅で始まり、ぬみよは川越尋常高等小学校(現在の川越第一小学校)に入学しました。

大正11年(1920年)9月1日、創設者山村ぬみよが川越市小仙波町の喜多院門前で裁縫手芸伝習所山村塾を開設、以来山村裁縫女学校・山村高等裁縫女学校・川越高等家政女学校と校名の変更がなされました。

昭和26年(1951年)4月1日、当時の坂戸町(現在の坂戸市)旧陸軍飛行場跡地を購入し山村女子高等学校(現在の山村国際高等学校)を開校いたしました。校舎の完成が遅れたので町の公会堂を借用して授業が開始されました。7月15日校舎落成式が行われ、公会堂から新校舎に移りました。

祖母は川越市小仙波町の自宅から山村女子高等学校敷地内の宿直室の建物に移り住んで校地・校舎の管理をしてくれました。祖父忠吉は校地の一隅を耕し畑として、晴れた日には麦わら帽子をかぶり、作業衣に地下足袋の姿で農作物を育てたり、校舎の前の花壇に花を植えたりしていました。雨の日には読書に時間を費やし、特に日本の歴史の本と戦国時代の武将の生涯を書いた本を好んで読んで、文字通り晴耕雨読の生活を送る日々でした。

故郷の山梨県を後にして50有余年、娘のぬみよと共に、幾多の苦難の道りを超えて山村女子高等学校を開校し、学校経営を娘婿の要二に譲ってからの坂戸での生活は、祖父忠吉にとっては一生の中で一番福なやすらぎのひとつときであったと思います。また趣味の俳句は、いつ頃から作り始めたかわかりませんが、日常生活や旅先で感じた時の句をノートに書き込んでいたと思われます。特に坂戸に移り住んでからは「悟道」

という俳号をもち、地域の俳句愛好家の集まりに参加して交流を深めていた。祖父の死後、生前の俳句の集りから出された「たむけ草」という俳句の小冊子を父が作成し、その中の句を譲りかかせていた

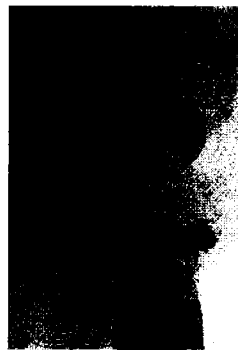
春の暁の柳の育ちぶり
読みかけの新聞顔に父屋敷
山百合の重たくゆれて風過ぎぬ
そっと押す昼寝する子の乳母車(註 昼寝する子は私です)

この乳母車の句は、祖父忠吉のレリーフと共に碑に刻まれて、山村国際高等学校の校門近くに設置され、生徒の学園生活を見守っています。

明治一桁生まれの祖父は明治・大正・昭和と日常生活は和服で過ごしました。太平洋戦争が始まった昭和16年(1941年)から昭和20年(1945年)までは洋服を着ていましたが、終戦後は祖母が縫った着物を着ての生活でした。ただし所用があって出かける時には普段着より値段の高い反物で仕立屋に縫ってもらった和服を着て行きました。

甲州人として古武士の風格があり、礼儀正しく、華美な生活をしない質素を信条として貫いた祖父も病気のため、坂戸から川越市小仙波町の自宅に帰り療養に努めましたが、昭和31年(1956年)5月30日「ありがとうよ」と最後の言葉を残して81年の生涯を閉じました。押し入れに置いてあった、祖父が使っていた行李の中には普段着・外出の時の着物・長襦袢・下着類・足袋・タオル・手ぬぐい・ノート・えんぴつなど、使用していた物が整理されて納められていました。(自身の死期を感じて身辺整理をしたのではないかと思います)

平松伴子 著書「学校はわがいのち」山村ぬみよの歩んだ道より一部引用 (7月記す)



祖父 山村忠吉

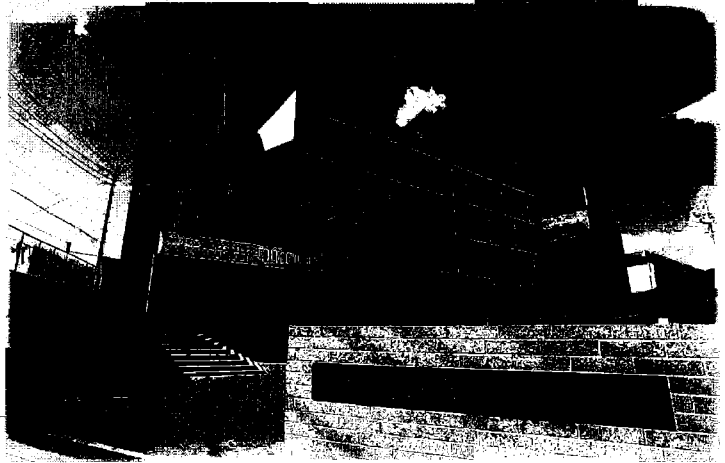


祖父の俳句の小冊子「たむけ草」



山村学園高校近況報告

山村学園高等学校
校長 平野 正美 先生



むらさき会の皆様には、日頃から本校へご支援・ご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

さて、新型コロナウイルスの感染拡大により臨時休校が続きましたが、6月1日に2か月遅れの入学式と始業式が実施できました。実に休業要請から3か月ぶりに、生徒の歓声が校舎や中庭に戻り学校が息を吹き返しました。臨時休校中の学校は、まるで閉校となった校舎のように生徒の影はなく、閑散として寂しいものでした。生徒が集い、その成長を教師が支援する。古代ギリシャの哲学者プラトンが建てたアカデメイア学園以来、古今東西の学校とはそのような存在でありました。

学校は再開しましたが、この間に失ったものも多くありました。今春は、3部4チーム（剣道、ダンス、バトン2チーム）が全国大会の切符を手にしましたが、大会は開催されませんでした。インターハイや各種コンクール等も中止となり、捲土重来を期して夏の甲子園を目指していた野球部も、その機会を失いました。各部の部員たちの無念さを思うと、いたたまれない気持ちになります。

進学を目指して受験勉強に取り組んできた3年生も、大きく計画が狂われました。休校中は学校から各家庭に課題を郵送するとともに、タブレット（クラッシー）による小テストや課題の配信、ズームによる朝のホームルーム、530本を超える本校教員による授業動画の配信など、生徒の家庭学習環境の充実に努めてきました。その甲斐あって、比較的スムーズに6月からの授業に戻ることができましたが、通常授業が再開されたのは6月末でした。

緊急事態宣言解除後、予想以上に首都圏での感染者が再び増加しております。第2波が到来しても慌てることのないように、本校ではオンライン授業の準備を進めています。感染予防等の新たな日常生活とともに、学校にも新たな教育の在り方が求められています。山村学園高校では、教職員が力を合わせてコロナ禍にあっても、地域に期待されるアカデメイア（学園）づくりを進めてまいります。

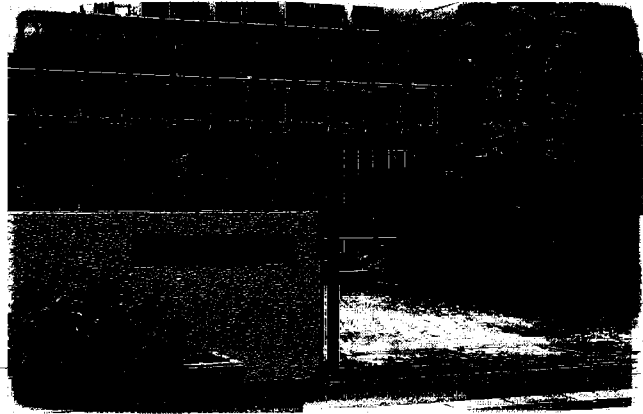
(7月記す)





山国は我が母校

山村国際高等学校
校長 中山 達朗先生



盛夏の候、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。
「むらさき会」の皆様方には、日頃より本校の教育活動にご理解・ご協力を賜り深く感謝申し上げます。

新型コロナウイルス感染拡大防止状況のもと本校におきましても、ご来賓・保護者不在の卒業式や入学式、放送による修了式・始業式、臨時休校や休校延長に伴うオンライン授業、そして在宅勤務など、かつて経験したことのない教育活動を執り行うことになりました。

この間「むらさき会」の皆様をはじめ、多くの方々にはご心配やご配慮をいただき厚く御礼申し上げます。

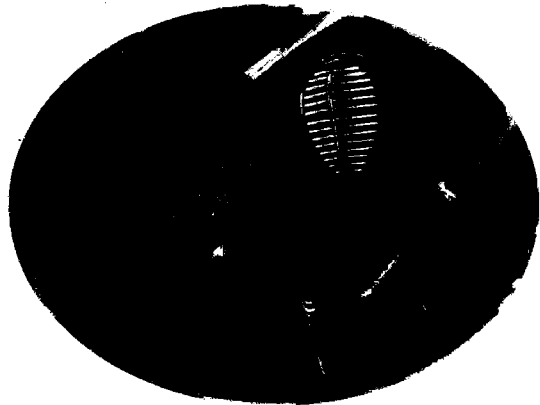
さて、主な教育活動の報告ですが、大学進学実績では、大東亜帝国は前年度比2割増、日東駒専においては同8割増となりました。それに加えて、東京外国語大学・埼玉大学などの国公立大学をはじめ、明治・青山・立教・中央・法政などの難関校に多くの合格者を排出するなど、生徒・保護者の皆様の期待に応える実績を上げることが出来ました。

部活動では、夏の高校野球埼玉大会でベスト8に進出した野球部をはじめ県大会上位で活躍する部は勿論のこと、ダンス世界大会（インドネシア）の出場権を獲得したダンス部、全国大会常連のバトントワーリング部、十年連続全国大会出場の生物部、全国大会初出場を果たした吹奏楽部など多くの部が「山村国際高校」の名を全国へ轟かせました。

こうした生徒の活躍は、「むらさき会」そして「保護者」の皆様方の部活動に対するご支援の賜でございます。

今後とも「むらさき会」の皆様から「山国は我が母校」と自慢される学校づくりに邁進して参ります。引き続きご指導、ご鞭撻の程お願い申し上げ挨拶とさせていただきます。

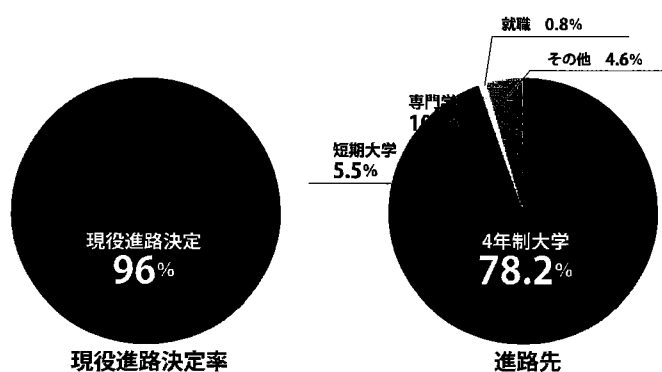
(7月記す)



進路実績

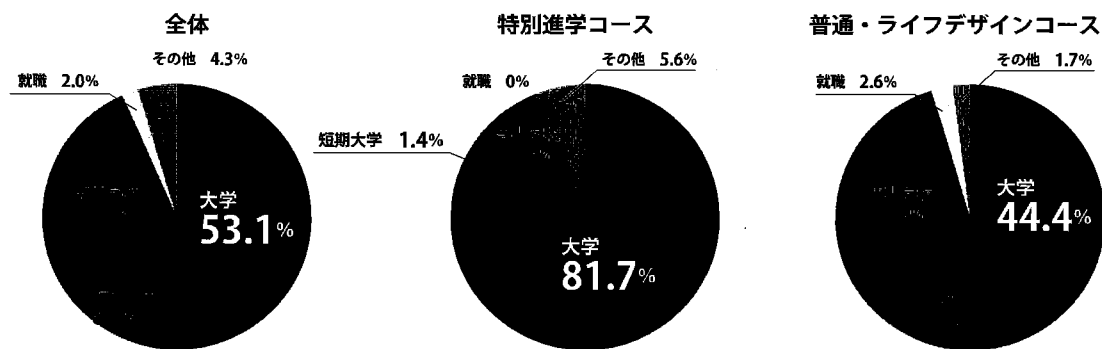
山村学園高等学校

毎年、国公立・難関私立大学へ多数合格
YAMAMURAの進学実績



国公立 (大学校を含む)	19名
早慶上理	6名
GMARCH 関関同立	51名
日東駒専	85名

山村国際高等学校



今年度の主な合格校 (現役のみ)

【国公立】

東京外国語大学 (1名) 埼玉大学 (1名) 宇都宮大学 (1名) 茨城大学 (1名) 富山大学 (1名)
名桜大学 (1名) 都留文科大学 (1名) 釧路公立大学 (1名) 防衛大学校 (1名)

【私立】

青山学院大学 (1名) 立教大学 (3名) 明治大学 (4名) 中央大学 (4名) 法政大学 (4名)
東京理科大学 (1名) 関西大学 (2名) 國學院大学 (2名) 武蔵大学 (3名) 獨協大学 (1名)
津田塾大学 (1名) 日本女子大学 (1名) 東京家政大学 (2名) 女子栄養大学 (6名) 北里大学 (1名)
日本大学 (12名) 東洋大学 (13名) 駒澤大学 (5名) 専修大学 (3名) 東京経済大学 (2名)
東京都市大学 (1名) 東京電機大学 (9名) 埼玉医科大学 (2名) 武蔵野大学 (1名) 大東文化大学 (25名)
東海大学 (5名) 亜細亜大学 (8名) 帝京大学 (3名) 国士舘大学 (5名)

むらさき会 会員の今

同窓会むらさき会HP(ホームページ)を開設しました。
<https://murasakikai.com/>



HPのQRコード



プロフィール 吉川真由さん、馬橋沙季さん

2018年山村国際高校卒業。山村学園短期大学の子ども学科に在学中のお二人。

目標は、皆さんの信頼を得ながら、子どもたちに「幼稚園、楽しい」「先生が担任でよかった」と言われる存在になりたい。

プロフィール 和田朋也さん

2020年山村学園高校卒業。中学時代は硬式野球チームの投手を務め山村学園でも投手として、1年生の夏季大会から主戦として活躍。3年生の夏季大会では決勝初進出して大活躍。卒業後の進路は、桐蔭横浜大学に進学。

目標は、プロ野球の世界を目指したいと思っています。



プロフィール 山崎晃裕さん

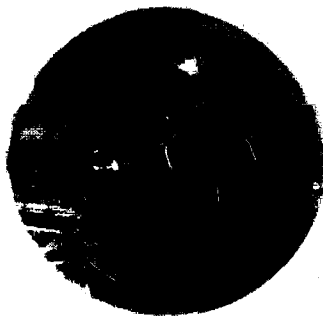
2014年山村国際高校卒業。日本パラ陸上選手権では4連覇中。17年の世界パラ陸上選手権で5位入賞。18年には日本新記録の60.65mをマーク。18年より順天堂大学職員を務めている。

目標は、東京パラリンピックで金メダルを獲ることです。

プロフィール Ai Ogino Raneyさん

2009年山村学園高校卒業。12年十文字学園女子大学卒業後、14年まで東京で留学生を対象とした日本語学校勤務。15年サンディエゴに移住し、夫婦でツアービジネスをスタート。

目標は、地球規模で起きている気候問題や貧困問題に対して、自分ができる支援をしていきたいと思っています。



プロフィール 黒白なつみさん

2008年山村学園高校卒業。ベルエポック美容専門学校ブライダルのスキルを身につけられる美容の専門学校に進学。若者向けの振袖の販売や着付け教室などの事業を展開する呉服店で約4年間勤務。現在、胡蝶蘭専門店「らんや小石川店」の店長。目標としては、結婚して、幸せな家庭を築くことですね(笑)



遠隔授業 コロナ対策

山村学園短期大学
学長 野口 一夫 先生

感染拡大が収まらない新型コロナウイルス、まだまだ二次、三次と気を抜けない日々が続いている昨今、本学では感染初期の二月十七日から対策会議を重ね、四月に入って課題学習、5回の遠隔授業を実施してきました。そして六月一日からは三密を防ぐ手立てはもちろん、徹底したマスク着用と消毒のもと全面的に（分散登校ではなく）対面授業を行っています。近隣の大学は前期すべて遠隔授業となる中、鳩山町、感染ゼロ 本学教職員や学生もゼロ、そして遠隔授業の際は学生とメールでのやりとり（Q & A、励ましの言葉等）で信頼関係をつないできました。

主なメールの内容

- 対面授業が楽しみです。
- 新型コロナウイルスに感染しないように気をつけます。先生も気をつけてください。
- 四つ葉のクローバーを見つけました。写真を添付します。
- 動画を見たのですが、出席確認メールを忘れていましたので送ります。
- 実際に観察するのが楽しみです。
- 質問への回答、ありがとうございます。今年は家で野菜作りを手伝います。
- ササゲの双葉が出る経過を観察したことがないので見てみたい。

対面授業においては、密を防ぐため人と人との間を十分にとった授業体制をとったため、私語が減り非常勤講師からも好評でした。

おかげさまで卒業式や入学式も保護者や来賓抜きでしたが予定通り実施できました。

今後とも本学は、学生、保護者・地域の皆さんと共に歩んでいきます。
(7月記す)

<むらさき会連絡先>

山村学園高等学校：〒350-1113埼玉県川越市田町16-2 TEL:049-225-3565

山村国際高等学校：〒350-0214埼玉県坂戸市千代田1-2-23 TEL:049-281-0221



HPのQRコード

むらさき会懇親会について

令和2年6月28日に予定されていた懇親会は、コロナウイルスの影響により延期になっておりますが、現在、開催の目途が立たないことから中止にさせていただきます。楽しみにしていただいていた方につきましては大変申し訳ございません。

step for
100th
ANNIVERSARY
100周年に向けて

創立100周年について

山村学園は2022年9月1日創立100周年を迎えます。

学園祭について

今年度、ふじぞの祭・紫藤祭は、コロナウイルスの影響で中止になります。

しかし、ふじぞの祭（山村学園高等学校）では、文化部の活動をHPやYouTubeにUPするバーチャル文化祭を企画中です。

むらさき会令和2年度役員一覧

会長：田中 久子	顧問：岡 實
副会長：野島 康子	顧問：平野 正美
副会長：加藤 充代	顧問：中山 達朗
相談役：山村 寛	事務局：田村 浄子

編集後記

世界中にコロナウイルスの感染の広がりで多くの命が奪われております。ワクチンもなく目に見えないウイルスの怖さを世界中で思い知ったのではないのでしょうか。

今年は、コロナの感染防止のため、多くの活動を中止させて頂いているため山村学園の様子を主とした編集になっており、また、リニューアルしたホームページと2020年版「むらさき会だよりNo.24」をお届けします。

むらさき会だよりは、創立者：山村ゆみよ先生の誕生日に発刊されます。

今後も山村学園と卒業生を結ぶ情報紙になれるよう努力を重ねて参りますので、皆様のご意見ご感想を事務局までお寄せください。